紋別養護学校　グランドデザイン

（令和2年度（2020年度）版）

校　訓

明　朗
協　調
強　健
勤　労

学　校　教　育　目　標

社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる

【育てたい資質・能力】

- ○身の回りのことや自分の役割に取り組む　（生活習慣）
- ○興味関心を広げ、自ら学習する　（基礎学力）
- ○心身ともにたくましく健康な身体づくりに励む　（運動習慣）
- ○自分や相手の良さに気付き、集団で活動する　（自己表現･自己理解）

目指す学校像

子どもが第一義

- ○子どもにとって授業が楽しく
- ○確かな学力が身につき
- ○主体的に活動する学校

目　指　す　子　ど　も　像

- ○自分から「やってみたい」「頑張ろう」とする子ども
- ○友達と助け合い、楽しく活動する子ども
- ○感謝の気持ちを持つ子ども
- ○笑顔で学習に取り組む子ども

目指す教師像

- 高い人権意識をもち教育実践する教師
- 専門的知識に基づいた授業づくりをする教師
- 学校組織の一員として行動する教師
- 子どもの見本となる教師

令和２年度（２０２０年度）

経営方針

安　全
子どもたちの安全を確保された学校

安　心
安心して通うことができる学校

安　定
専門性の高い教育を提供する学校

教育方針

検　証
引き継がれた個別の指導計画を検証し
的確な実態把握に基づいた目標設定

改　善
的確な目標に沿った授業計画および授業内容の改善

連　続
指導記録に基づいた客観的な評価および
次年度の個別の指導計画を引き継ぐ

令和2年度（2020年度）重点教育目標

客観的な個別の指導計画に基づいた未来につながる授業づくり

学校評価指標

安全な学校づくりの推進

○事故対応
- 教室、特別教室等の適切な管理
- 事故防止に向けたヒヤリハットの蓄積と分析の実施
- 事故の検証および対応策の明確化
- 緊急時対応時の基本的な知識と技能の習得
- 保護者、関係機関に的確な説明できる記録の蓄積

○災害時対応
- 最悪の事態を想定した危機管理マニュアルの見直し
- 様々の状況に対応できる訓練の工夫
- 地域と連携した防災対策の構築

○緊急時連絡
- 一斉メール配信の活用
- 緊急時電話の活用

○情報管理
- 学校情報、個人情報等全ての情報管理方法の周知

○適切な予算の執行
- 学習費の適切な執行
- 計画的な学習費の執行
- 適切な学校予算の執行

専門性の高い教育を提供するための推進

○個別の指導計画
- 客観的で系統性のある目標設定
- 個別の指導計画に基づいた授業計画および授業実施
- 指導記録に基づいた客観的な評価の実施
- 保護者に指導記録を基に客観的な説明の実施

○行事、校外学習等の見直し
- 目的の明確化と目的に沿った内容の改善
- 各教科等のねらいからくる校外学習の実施
- 個に応じた目標と内容の設定
- 共生社会に向けた交流および共同学習の実施

○チームでつくる授業
- 指導打ち合わせの工夫
- 主体的な動き出す手立ての工夫
- 教師一人一人の役割を明確にした連携
- 適切な教材教具の活用

○専門性の向上
- 授業を協議する場の設定（研究授業）
- 他校、他機関の研修に積極的に参加する体制

保護者･地域との連携

○保護者連携
- 目的を明確にした個別懇談の実施
- 目的を明確にした参観日の実施
- 担任としての学級経営や個別の指導計画の意図を明確に説明
- 保護者に同意を得るための客観的資料（指導記録等）をもちいた説明
- 計画的な参観日の実施
- 通信、懇談等で授業の意図を説明

○地域との連携
- 地域への情報発信
- 地域の小中学校との連携（センター的役割、共生社会の実現）
- 関係機関、施設との連携

○全職員が本校の教育課程の説明を行う

○個別の教育支援計画の活用
- 関係者の共通理解を図るツールとしての活用促進
- 関係機関と連携した支援会議の実施

児童生徒に向き合う時間を確保するための業務改善（働き方改革）

○会議の精選及び推進方法の工夫
- 会議の目的及び内容の明確化
- 会議以外での共通理解を図る工夫
- 子どもの話題が中心である会議運営
- 効率のよい会議運営の工夫
- 自己の責任を意識し会議目的に沿った出席

○分掌業務の明確化と業務内容の精選
- 業務内容の精選
- 児童生徒の状況に基づいた計画案の作成（前年度踏襲の脱却）
- 役割分担の明確化
- 分掌内の報告・連絡・相談の徹底

○服務に関すること
- 教育公務員として役割
  1)教育公務員としての自覚と責任ある行動
  2)子ども達の見本となる言動
- 出退勤時間について
  1)定時退勤日・強化月間の設定
  2)学校閉庁日の設定
  3)労働基準法に基づいた出退勤時間の管理